



完全受注生産のシュベスターピアノ 名工が作り出す逸品を提供



espressivo

有限会社 エスプレシーボ

〒 225-0024

神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町 1175-11-108

TEL 045-971-0531 / FAX 045-971-0577

URL <http://www.esptec.net>

Company data

代表取締役

大久保 康則

大学卒業後、ピアノの調律師を志しシュベスターピアノの製造元に入社する。8年間の修業を経てピアノ作りを習得。(有)エスプレシーボを設立し、ピアノのメンテナンス、シュベスターピアノの販売代理店業務に携わる。



▲ 国内唯一の完全手作りピアノ「シュベスターピアノ」天然木が生み出す素朴な音色は、とても柔らかい

斉藤 御社ではピアノの調律やオーバーホールだけでなく、手作りのシュベスターピアノの販売代理店業務も手がけていらっしゃるのか。社長がこの世界に入れたきっかけはなんですか？

大久保 (康) 私はもともとピアノ調律師を目指してまして、ピアノ工場で調律の修業とグランドピアノの製造工程を学んだあと独立したのです。

斉藤 奥様も一緒に働いておられるのですか？

大久保 (由) ええ。私は音大のピアノ科を卒業してまして、今は当社のお手伝いをしながら、ここでピアノを教えています。今も隣の部屋で生徒さんがシュベスターピアノを弾いているんですよ。

斉藤 先程からずっと聞こえているのがシュベスターピアノなんですね。音に重

みがあるのにふわんと柔らかな音色です。鍵盤は木でできているのですか？

大久保 (康) 分かって頂けて嬉しいですよ。シュベスターピアノは、ピアノ響板には最適とされている赤松の中でも、大変希少な樹齢100年以上の北海道産赤エゾ松や20年以上のシーズニング響板などの素材を使用しているんです。素朴な木の音がシュベスターピアノの持ち味なんです。

斉藤 社長がシュベスターピアノに出会ったのはいつごろなんですか？

大久保 (康) 工場での修業時代です。知名度は高くないですが、手作りのピアノだからこそ出せる、人の心に深く響く、精度の高い透き通った音に感動したのを覚えています。私と同じように気に入ってくださり、購入されるお客様の大半は「自分のピアノが作られる過程を見たい」と

仰って工場見学に行かれますよ。

斉藤 自分のピアノが作られているところを見られるなんて素敵です。

大久保 (由) 見るだけでなく、是非一度鍵盤に触れて頂きたいですね。一台一台愛情を込めて作られた、シュベスターピアノならではの深い味わいのある音に感動して頂けるとと思います。

大久保 (康) シュベスターは日本で唯一の完全手作りピアノメーカーですから、塗装やデザイン、アクション、ハンマーの選択などお客様のどんな注文にも応えられます。これからも、シュベスターピアノだからこそ出せる、豊かな表現力のある音色を多くの方に伝えていきたいですね。

斉藤 興味深いお話をありがとうございました。私も年をとったらオーダーメイドで作ったピアノがほしくなりましたよ。



▲ [写真左] 取締役 大久保 由美子氏

Guest Comment

斉藤 こず恵 (歌手)

大久保社長と奥様が共に愛情をたっぷり持ってピアノに接していらっしゃるのを感じられる対談でした。ずっと流れていたシュベスターピアノの奏でる音色に心が癒されましたし、対談後に弾かせて頂いたシュベスターピアノの木の鍵盤が奏でる温もりの音に感動しました。

